



北区 こぼれ話 第121回

下を向いて歩いたら世間を見たような気がした —「陸軍用地」と刻まれた石をめぐる—



「陸軍用地」と刻まれた境界標石
(王子本町三丁目アパートと
王子本町アパートの境界)

北区立中央図書館の南には、都営王子本町三丁目アパートがあり、さらにその南に都営王子本町アパートがあります。それらの二つのアパート群の境界線は、急な段差になっています。段差の下には「陸軍用地」と刻まれた境界標石が三本あります。

以前、これらの標石は、土や草に埋もれていて見つけるのも難しい状態でした。しかし、アパートの建て替え時に、段差の擁壁部分の改修工事も行なわれ、以前よりも見つけやすくなりました。左の写真は、その中の一本です。

工事中「旧陸軍の石が危機に瀕している。保存できないものか。」との声が「北区の部屋」にも寄せられました。最終的には、東京都や北区教育委員会(飛鳥山博物館)、そして工事関係者の工夫と努力により、良好な状態で残されたのでした。これらの標石がある場所は、もともと東京第一陸軍造兵廠と民有地の境界線でした。戦後、それらの土地に

都営アパートが建設されたのです。「陸軍用地」の境界標石は、その東側の坂道(スーパーサミットがある交差点の手前)にも一本ありましたが、こちらは工事中に北区飛鳥山博物館に収蔵されました。

滝野川二丁目 32 付近の道路わきにも、陸軍用地の境界標石があります。これは、東京第一陸軍造兵廠滝野川工場のもので、また、梅ノ木小学校正門の前にも同様の石があります。稲付射撃場のもので、ほかにも、区内の様々な場所に、陸軍用地や海軍用地の境界標石があります(『北区平和マップ』参照)。軍の境界標石が多く存在するのは、北区域の土地の約 1 割が軍用地としての歴史を持っているからです。

それら旧軍用地周辺を歩くと、未発見の標石はないものかと、いつも下を向いています。ある日、路地の草むらを確認しているときに、近隣の方から何をしているのかと声をかけられたことがあります。「陸軍用地と書かれた石を探しています」と答えたところ、その方は表情を曇らせました。「北区の部屋」へ土地の調査に来室される利用者の中にも、お目当ての場所が旧軍用地だと知り、肩を落とされる方がいます(不動産として見た場合、あたりまえの反応です)。身近な場所に軍の工場があったことなど風化させてしまいたいと思う方も、少なからずいらっしゃるのです。

「陸軍用地」と刻まれた石を歴史の証人と考え、保存を訴える方もいれば、逆に、身近な土地が旧軍用地であったと知られることをマイナスに考える方もいます。下を向いて歩きながら「石ひとつとってみても、人の世は様々なのだ」と思ったのでした。

【地域資料専門員 黒川徳男】



赤レンガ図書館も元は軍事施設でした。

◆今月の展示：ある家族の昭和史 ～史料に見る戦争～



◀展示期間▶ 7月26日(金)～8月21日(水)

◀展示場所▶ 「北区の部屋」企画展示コーナー

北区の部屋では、ある区民のご家庭から戦争中の様々な史料をお預かりしています。日の丸への^{ためが}為書き、国民学校の賞状、軍人の揮毫、大量に購入された戦時国債、海軍の軍服の一部、そして空襲被害の証明願。それらを通して、戦時中のごく普通の家族の姿を読み解きます。



◆平和祈念事業：特別展示『平和図書コーナー』開催中！！

北区では、昭和61年に制定した平和都市宣言を記念して、7月30日(火)から8月3日(土)までの5日間を『平和祈念週間』とし、平和を願うさまざまな催しを実施しています。

図書館では、平和について考えるきっかけになるような本を集めて展示する『平和図書コーナー』を、区内各図書館に開設しました。

また中央図書館では、『ドナルド・キーンと平和』をテーマに、キーン氏の著作を紹介する特別コーナーを設置したほか、北とぴあ展示ホールでパネルと直筆原稿の展示もしています。ぜひご覧ください。



◀開催期間▶

・7月26日(金)～8月31日(土)

※休館日除く

◀開催場所▶

・一般向け平和図書コーナー(一般書)

→ 中央・滝野川・赤羽図書館にて

・子ども向け平和図書コーナー(児童書)

→ 北区立図書館全館にて

・ドナルド・キーンと平和コーナー

→ 中央図書館「ドナルド・キーン」コレクションコーナーにて

→ 北とぴあ展示ホールにて(8月3日まで)



◆「北区の部屋」のご紹介 ～夏休み☆調べ学習ノススメ～

8月、夏、真っ盛り！ 夏を満喫中の学生の皆さま、夏休みの宿題は^{はかど}捗っていますか！？ また、夏休みの宿題で自由研究や調べ学習はありましたか？ 「北区の部屋」には、北区に関する本、地図、写真、古文書などあらゆる資料が多く揃えてあります。さらに北区の歴史のスペシャリスト・地域資料専門員が2名(※)いますので、北区に関することなら何でも答えてくれます。また貴重な資料も見せてくれ、地域にまつわる面白い話も聞かせてくれることでしょう。資料の貸し出しも行っています。それらを使って、自分の住むまちの歴史を調べてみるのはいかがでしょうか。きっと素晴らしいものが出来ますよ！！

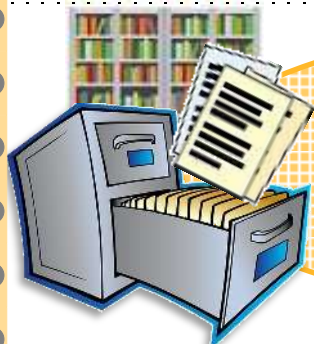
調べ学習でなくても構いません、何か北区に関することで知りたい、調べたいことがあれば、ぜひ「北区の部屋」へお越しください。お待ちしております！

※地域資料専門員の出勤日は、「北区立図書館」のHPで確認するか、直接電話にてお問い合わせください。



地図や写真、古文書等々、何でもあるよ☆





北区こぼれ話 第122回 実は面白い?! 「北区行政資料集」の話



みなさんは『北区行政資料集』という本をご存知でしょうか。毎年9月に北区政策経営部企画課というところが発行している北区に関する資料集で、インターネットを通じて区のホームページからも見ることができます。内容は、北区の人口や土地利用面積、歳入・歳出といった財政状況や諸施設の利用状況、区民の健康に関する統計など北区が携わっている様々な事業のデータを収載したもので、特に説明や解説が施されているわけではないので読み物としては面白いとは言えないかも知れません。しかし、ここに示された数値が持つ意味を考えていくことで、この本はとて面白い読み物に変化します。

例えば、2018年4月現在、北区で最も児童数の多い小学校がどこかご存知でしょうか。「最も」といっても2校が同数のため最も児童数の多い小学校は2校になります。正解は浮間小学校と西浮間小学校で、それぞれ619名の児童が在籍していま

す。同数1位のため2位を飛ばして3位はというと王子第一小学校で、児童数は605名になります。600名以上児童が在籍している小学校は区内でこの3校のみなのですが、同数1位である2校がともに浮間地域、それも距離にして5~600mほど離れただけの両校って何かすごくないですか？ちなみに、浮間地域の児童年齢人口（4月1日時点で6~11歳）は地区全体の人口構成の5.4%を占めており、この数値は他地域と比較しても高く、北区全体の平均を3.8%に押し上げています。（数値は全て平成30年度版『北区行政資料集』によります。）

では、何故、浮間地域に児童が多いのでしょうか。かつて北区は城北工業地帯と称されたように隅田川、新河岸川沿岸に多くの工場が建ち並ぶ工業地帯でした。しかし、現在では工場の郊外移転が続き、その跡地に次々と高層住宅が建設されています。事実、北区の土地利用面積は現在進行形で工業地区面積が減少し、住宅地区面積が増加しています。こうした傾向は特に浮間地域で顕著に見られ、その結果、子育て世代が転入し、児童数が増加しているものと考えられます。

『北区行政資料集』には、様々なデータが収載されており、こうした数値から現在の北区の様子を読み解くことができます。逆に、実際にみなさんが見ている北区の風景を改めて数値で裏付けることも可能でしょう。資料自体は単なる数値ですが、その意味を考えていくことで、この本は最も豊かに北区の姿を描き出す読み物となるのです。



浮間橋から望む新河岸川周辺の浮間地域

【地域資料専門員 保垣孝幸】

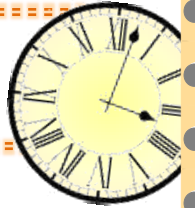


約50年前の王子駅前ロータリー。
まだ、北とびあが建設されていません。

◆今月の展示：50年～半世紀の移り変わり～

◀展示期間▶ 8月23日(金)～9月25日(水)

◀展示場所▶ 「北区の部屋」企画展示コーナー



1971年(昭和46)に『新修北区史』が刊行されました。それからおよそ半世紀、北区はどのように変わったのでしょうか。今回の展示では『新修北区史』に掲載されている様々な写真と現在を比較しつつ、北区の今を紹介します。

◆歴史講演会開催のお知らせ

「王子と東京書籍 ～教科書、書籍の110年と未来～」

▶後援：東京商工会議所北支部／企画・運営：北区図書館活動区民の会・地域資料部

あなたが使った教科書は、王子にある教科書会社「東京書籍」製では？
同社110年の歩みとデジタル教科書や電子出版のお話です。

【日時】 9月28日(土) 午後2時～4時

【場所】 北区立中央図書館3階ホール

【講師】 第一部 東書文庫館長 北澤清貴氏
第二部 東京書籍(株)文化事業部 中条純氏

【対象】 中学生以上の方

【定員】 50名(抽選)

【申込方法】

往復はがきに必要項目を記入し、下記申込先まで。9月12日(木)(必着)。

①往信用裏面に講座名、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号

②返信用表面には申込む方の住所、氏名

※ 視覚、聴覚障害のある方は電話申込、またはファクス申込可。

※ 手話通訳が必要な方は事前に要連絡。

【申込・問合せ先】

〒114-0033 北区十条台1-2-5 中央図書館図書係 地域資料担当

TEL(5993)1125 / FAX(5993)1044



◆地域資料『北区空中散歩いま・むかし』がDVDで復活します！

「北区の部屋」では、北区に関するものなら音源、映像等の資料でも収集し配架しています。その中に、『北区空中散歩いま・むかし』というビデオテープがありました。広報課が1991～1992年にかけて作成したもので、北区を全7地域に分けて北区上空から街並みを撮影した各30分程度の記録映像です。北区全域を網羅した大変貴重な資料だったのですが、28年程前の資料のためか劣化が激しく、残念ながら2016年に除籍となっていました。

しかし今回、広報課のご厚意により、ビデオテープからDVDに直したものを9月上旬より再配架することが決定いたしました！

元データがビデオテープのため、画質は少し悪いのですが、飛鳥山公園に展望塔があったり、赤レンガ図書館がただのレンガ棟だったり、赤羽台団地が建て替え前だったり、当時のまちながわがわかって見応えある作品となっています。貸出の他、館内で視聴もできますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。



北区の部屋だより 第123号

2019年10月



刊行物登録番号 30-2-121

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL.03-5993-1125 令和元年10月発行



北区の「聖地巡礼」 -田端がアニメや音楽の聖地に-



アニメや映画、ドラマや小説など、様々な作品に登場する実在の場所を「聖地」と呼び、それらを訪れることを「聖地巡礼」と言います。

清野とおるさんのマンガ『東京都北区赤羽』や、山田孝之さん主演のテレビドラマ「山田孝之の東京都北区赤羽」では、ここでは説明しきれないくらい赤羽の様々な場所が取り上げられました。両作品は、赤羽ブームの火付け役だったと言えるようです。赤羽と言えば、赤羽台団地は、音楽グループ「エレファントカシマシ」の聖地でもあります。ボーカルの宮本浩次さんらメンバー4人中3人が、旧赤羽台中学校の同級生です。宮本さんらが育った赤羽台団地では、ミュージックビデオやパンフレットの写真が撮影されています。現在、赤羽駅の湘南新宿ラインホームの発車メロディにも、彼らの曲「俺たちの明日」(上り)や「今宵の月のように」(下り)が使用されています。

ジャニーズ事務所のアイドルグループ「関ジャニ∞」の聖地となったのが、赤羽八幡神社です。ファンにより、多くの絵馬が奉納されています。赤羽八幡神社の絵馬や御朱印には「八」に因んで「∞」が描かれていて、そのことが関ジャニファンの間で人気となったのです。

王子には、小説の聖地があります。王子稻荷神社です。『よろず占い処 陰陽屋へようこそ』を始めとする、天野頴子さんの小説「よろず占い処 陰陽屋」シリーズに王子稻荷神社が登場するのです。この作品はテレビドラマ化され、主人公「安倍祥明」を錦戸亮さんが演じました。最近まで、錦戸さんは、前述の関ジャニ∞のメンバーでもありました。

小説の聖地と言えば、内田康夫さんの浅見光彦シリーズでは、主人公が西ヶ原に住んでいるという設定であり、地元の霜降銀座商店街では、毎年「ミステリーウォーク名探偵★浅見光彦の住む街」を開催しています。

さらに、この夏、北区に聖地が加わりました。JR 田端駅南口付近です。山手線の駅なのに無人改札という、あの小さな改札口のあたりです。新海誠監督のアニメ「天気の子」では、田端駅南口を出たところにある崖沿いの道が重要なシーンの舞台となっています。ヒロインが住むアパートも、その近くにあるという設定です。それに関連して、すぐ近くの新幹線車両基地も音楽の聖地になっています。「天気の子」の主題歌は、RAD WIMPSの「愛にできることはまだあるかい」ですが、そのミュージックビデオは、田端から上中里にかけて位置する JR 東日本東京新幹線車両センターで撮影されています。「天気の子」には、北区アンバサダーの倍賞千恵子さんも声の出演をなさっていて、何かと北区と縁の深い作品と言えます。



【写真】田端駅南口付近から見える風景
(「天気の子」にもこれに似た景色が登場します)

*それぞれの「聖地」は、地元の皆様にとっては生活の場です。訪れる際には、ご迷惑にならないようマナーに十分配慮しましょう。

【地域資料専門員 黒川徳男】

北区の部屋 今月の展示

テーマ：^{ろぼう}路傍の「石」 —歴史を語る様々な石造物たち—
期 間：9月27日（金）～10月23日（水）
場 所：「北区の部屋」企画展示コーナー



路傍の「石」と言っても、^{やまもとゆうぞう}山本有三の有名な小説のことではありません。本当にある道端の石のことです。石碑や境界石、道標など様々な石造物が私たちに歴史を教えてください。今回の展示では、区内に点在している様々な石造物のうち、一部を取りあげパネル展示をいたします。

赤レンガ棟100周年記念講演会

弾丸工場から図書館への1世紀 ～北区の歴史とともに歩んだ道のり～

- 対象：区内在住・在勤・在学の方優先
 - 日時：11月2日（土）午後2時～4時
 - 講師：國學院大學講師 ^{くろがわのりお}黒川徳男氏
 - 申込方法：往復はがきの往信用裏面にイベント名、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号
返信用表面には申し込む方の住所、氏名を記入。
 - 締切：10月17日（木）必着
 - 申込・問合せ先：〒114-0033 北区十条台1-2-5 北区立中央図書館図書係 Tel. 5993-1125
- ※視覚、聴覚障害のある方は電話、ファクスで申し込み可 ※手話通訳が必要な方は事前にご連絡ください。

東京文化財ウィーク 2019

今年も開催します。

＊東京都教育委員会では、毎年11月3日（文化の日）中心に都内全域の文化財の公開や様々な関連イベントを実施する「東京文化財ウィーク」を開催します。＊今年「赤レンガ棟100周年」を記念し、上記で紹介した中央図書館主催の講演会のほか、飛鳥山博物館主催の講演会「歴史的建造物が図書館に生まれかわるとき」の詳細についても、掲載されています。

＊配布場所：区内各図書館（無くなり次第終了）




通年公開編



特別公開・
企画事業編

「北区」が登場する本のリスト

更新しました。

＊北区立図書館では、利用者の皆さまにご協力いただき“北区”に関する記述のある本の目録【「北区」が登場する本のリスト】を作成しています。今年も、10月1日にリストを更新し、区内全図書館及びホームページでご覧になれます。リストにある本には背表紙に【さくらマーク 】が貼ってありますので、ぜひご覧ください。＊【北区の記述がある本】の情報は今後も引き続き募集いたします。“北区”が登場する本を発見しましたら、各図書館のカウンター等に置かれている「北区が載っている本を教えてください。」用紙に詳細を記入し、図書館のスタッフへお渡しください。＊皆様からの情報、心よりお待ちしております。



北区の部屋だより 2019年11月 第124号



刊行物登録番号 30-2-121

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 令和元年 11月発行



北区を東西に貫流する石神井川は、東京都小平市花小金井南町に源を發し東京都北部の武蔵野台地を東へ流れ、北区堀船3丁目で隅田川に合流する流路延長 25.2 km、流域面積 61.6 km²の一級河川です。江戸時代には江戸近郊の名所として、夏は川遊び、秋の紅葉狩りなど四季を通じて多くの行楽客が訪れました。錦絵にも数多く描かれており、特に江戸後期から幕末期にかけては石神井川を画題とするものが増加し、明治期に入ってもその人気は衰えませんでした（伊藤紀之「浮世絵に描かれた北区」、『浮世絵に見る北区の江戸時代』北区飛鳥山博物館、2013年）。このように多くの行楽客で賑わった石神井川ですが、北区の村の人々にとってはどのような存在だったのでしょうか。

大和郡山藩の二代藩主柳沢信鴻は、50歳のときに子の保光に家督を譲り、自らは現在の六義園（文京区本駒込）に移り住み、悠々自適な生活を送りました。多くの俳号を持つ文人隠居大名であり、彼の日常生活は『宴遊日記』『松鶴日記』といった日記資料からうかがうことができます。その信鴻が安永3年（1774）3月朔日に石神井川を訪れました。日記によれば、この日は飛鳥山や王子権現、王子稻荷などを見物した後、岩屋弁天に向かっています。岩屋弁天とは金剛寺（滝野川 3-88）の崖下、石神井川に面した岩窟内に安置されていた弁財天のことで、江戸の人々に広く知られた人気観光スポットでした。ところが信鴻が岩窟内に入るとその中が非常に葱臭かったと記しています（「百姓葱を滝の川に洗う故か甚だ葱くさし」）。

「名所江戸百景 王子滝の川」
歌川広重（国立国会図書館所蔵）



図版中央、石神井川に面し鳥居の描かれている場所が岩屋弁天

近隣の農民が収穫した葱の泥を石神井川の水で洗っていたのでしょう。その臭気が岩窟内に立ちこめていたというのです。

このことは石神井川の二つの側面を見事に示しています。隠居大名柳沢信鴻にとっての石神井川は人気の観光地なのですが、近隣住民にとっては出荷する葱を洗う川、まさに生活の川だったので

す。江戸時代の石神井川を語るとき、どうしても江戸近郊名所としての側面がクローズアップされますが、地域を語る上では、こうした地元の人々の目線が重要になってくるのです。

【地域資料専門員 保垣孝幸】

北区の部屋だより

第125号

2019年12月



刊行物登録番号30-2-121

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」

〒114-0033十条台1-2-5

TEL.03-5993-1125

令和元年12月発行

北区
第125回
こぼれ話



若き渋沢栄一の武勇伝

-『雨夜譚（あまよがたり）』のおもしろさ-

まずは、とても個人的な思い出から。今から30年と少し前、私は大学生でした。3年生になり、どのゼミ（演習）に所属しようかと迷い講義要綱をながめていたところ『吉田松陰書簡集』の文字が目に飛び込んできました。当時、私は、人気作家であった司馬遼太郎さんの『龍馬がゆく』や『世に棲む日々』などを愛読していました。「よし、この日本政治思想史のゼミにしよう」と所属を決意し、最初の授業に出てみました。

すると、教授曰く

「去年は『吉田松陰書簡集』を読みましたが、今年は別の資料を読みます」

私「ええっ、別の…」 教授「渋沢栄一の自伝『雨夜譚』を読みます」

私「渋沢栄一？何となく聞いたことあるけど、何をした人だっけ」

ほかにも落胆の表情を浮かべた学生がいたのでしょうか。その教授は、渋沢栄一（『滝野川町誌』昭和8年より）が、いかに日本経済史において重要な役割を果たした人物であることを力説し始めました。しかし「日本資本主義の父」と説明されても、それがどのようにすごいのか、私にはさっぱり分かりませんでした。

授業の後、大学生協の書店で、教授に指定された岩波文庫版『雨夜譚』を買い、ペラペラめくってみました。なんと、そこには「日本資本主義の父」らしからぬ言葉がちりばめられていました。

意外にも、若き日の渋沢は、幕府の弱腰外交を憤る攘夷派志士でした。高崎城から武器を奪い、横浜で外国人を襲撃するという密議に加わっていました。しかし、事前に計画が発覚し、役人の捕縛から逃れるために江戸へ逃亡。あるきっかけから、一橋慶喜（後の15代将軍）の家来となりました。さらに、京都へ向かい、近藤勇に会い新選組と共に行動したこともあります。『雨夜譚』には、とても興味をそそる内容が語られていました。「渋沢は、血の気の多い若者だったのか！」「罪人として故郷を追われたのに、幕臣になるってどんな人生なんだ？」「攘夷派志士が、新選組と行動を共にするって??」と、つぎからつぎへ展開する渋沢の数奇な人生。

「事実は小説より奇なり」という言い古された言葉があります。渋沢は、農民身分から、あれよあれよと言う間に幕臣へ駆け上がりました。維新後は、政府高官になりますが、あえて、その地位を捨てて野に下りました。西洋の資本主義の冷たさを見抜き、東洋の人間学である儒学によって、それを補おうとしました。経営者でありながら「小さき者」の側に立ち、社会福祉に携わり差別を批判しました。また、平和を愛し、険悪化する日米関係を憂い民間外交に努力しました。

周知のように、渋沢栄一の肖像が一万円札に採用されます。彼がどのような社会を目指そうとしたのか、もう一度見直される機会になるとよいと思いながら『雨夜譚』を30年ぶりに開いてみました。



写真 渋沢栄一

（『滝野川町誌』昭和8年より）



北区の部屋に渋沢栄一の本をあつめたコーナーを作りました。

【地域資料専門員 黒川徳男】

100th ANNIVERSARY

赤レンガ棟100周年記念特集

100th ANNIVERSARY

北区の部屋
今月の展示

テーマ：赤レンガ棟が歩んだ100年－その時北区は－
 期間：11月29日（金）～12月28日（土）
 場所：北区の部屋・企画展示コーナー

北区立中央図書館の赤レンガ棟は、かつて日本陸軍の工場として1919年に建てられ、その後アメリカ軍や自衛隊に利用されながら、2008年に北区立中央図書館に生まれ変わりました。こうした100年の歴史を、当時の北区の様子とともに振り返ります。



黒川徳男講師

赤レンガ棟100周年記念講演会 弾丸工場から図書館への1世紀 ～北区の歴史とともに歩んだ道のり～



11月2日「弾丸工場から図書館への1世紀～北区の歴史とともに歩んだ道のり～」
くろかわのりお
 と題し、國學院大學講師黒川徳男氏の講演会を行いました。

現在、北区立中央図書館となっている赤レンガ棟がたどってきた歴史を、日頃なかなか目にする事のない陸軍省の資料や、戦争中に造兵廠で風船爆弾の製造をしていた人々の話を載せた図書等をもとに、ひもときました。また、赤レンガ棟が日本軍、そして米軍から自衛隊へと使用者が変遷したあと、「北区史きたもとまさおを考える会」の働きかけによって、取り壊されず保存に至った経緯や、元北区長 北本正雄氏の話等をもとにした北区の図書館の歩みなど、興味深いお話がありました。受講された皆様は、大変熱心に、メモを取りながらお聞きになっていました。

赤レンガ図書館見どころガイドツアー

11月3日（日）閉館後、館内に掲示している「赤レンガ図書館見どころパネル」をたどりながら、地域資料専門員と飛鳥山博物館学芸員によるガイドツアーを行いました。かつて軍の工場として利用されていた頃の様子を残して建設された中央図書館。その100年の重みを感じられるツアーでした。



保垣地域資料専門員

小学生向けワークショップ 「親子で謎解き！中央図書館ナイトツアー」

北区図書館活動区民の会地域資料部企画・運営



誰もいなくなった夜の図書館を大冒険。普段は何気なく利用している
 この場所は、実は…！？親子で謎を解きながら歴史の核心に迫る！

★対象：区内在住の小学生と保護者（必ず保護者同伴・小学6年生優先・1家族で1組）★定員：20組（抽選）★日時：令和2年1月12日（日）午後4時45分～7時 ★場所：中央図書館3階ホール集合
 <申込方法・問合せ先>

※往復はがきの往信用裏面にイベント名、郵便番号、住所、参加者全員の氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、返信用表面には申込む方の住所、氏名を記入の上、12月17日（金）必着。

※ファクスでも申込み可。申込書は各図書館、または北区図書館ホームページでダウンロードできます。

〒114-0033 北区十条台1-2-5 北区立中央図書館図書係 Tel03-5993-1125 Fax03-5993-1044